



令和 7(2025)年度 助成・褒章事業贈呈式 開催

【日時】令和 8年(2026年)3月10日(火) 13:30~15:30 (贈呈式・受賞講演)

【場所】ホソカワミクロン株式会社 枚方本社本館 12階大会議室

〒573-1132 大阪府枚方市招提田近1-9 (オンライン配信によるハイブリッド方式)

【主催】公益財団法人 ホソカワ粉体工学振興財団

【後援】ホソカワミクロン株式会社

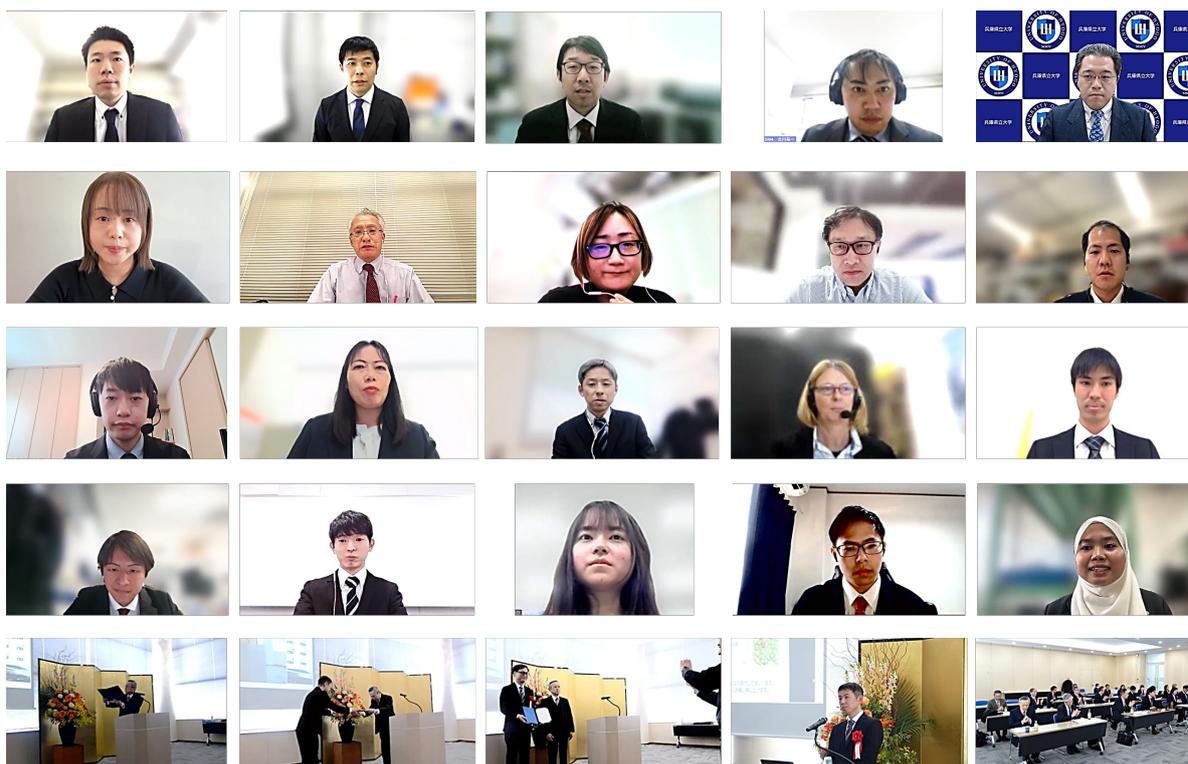
本贈呈式は、皆様の利便性を考慮し、一昨年に引き続き会場とオンラインを併用したハイブリッド方式で開催されました。

会場からは、ホソカワ研究奨励賞を受賞された受賞者1名とシンポジウム等開催援助の採択団体の代表1名、および本助成事業の選考委員、当財団評議員・理事のほか、ホソカワミクロン(株)の関係者など23名が参列しました。また、オンラインでは、研究助成・研究者育成援助の採択者と一部当財団関係者も併せて合計47名が参加しました。

本年度は、全体で156件の応募に対して、選考委員による厳正な審査の結果、KONA賞1件、研究奨励賞1件、研究助成17件、研究者育成援助6件およびシンポジウム等の開催援助1件が採択され、



細川理事長による開会挨拶



オンライン参加者との記念撮影風景



研究奨励賞の受賞風景



受賞講演の様子

褒賞金・助成金の総額は 2,130 万円となりました。

式典では、細川理事長による開会挨拶、内藤常務理事による選考結果報告に続き、まず研究助成および研究者育成援助の採択者に対してオンライン贈呈形式をとり、採択者一人ひとりの所属および研究課題が紹介されました。続いて、各採択者より挨拶と今後の抱負が述べられ、贈呈状は後日郵送にてお届けいたしました。次に、会場に出席されたシンポジウム等開催援助の採択団体代表および研究奨励賞受賞者へ、贈呈状がそれぞれ直接手渡されました。

さらに、研究奨励賞を受賞した北九州市立大学国際環境工学部の三野泰志准教授による「粒子分散系における粒子運動の予測・制御に向けた研究」に関する興味深い受賞記念講演が行われました。

最後に、猪ノ木評議員による閉会挨拶の後、記念撮影が行われ、盛会のうちに無事終了しました。

なお、KONA 賞につきましては、例年に引き続き国内外の選考委員による厳正なる審査を行い、本年度はドイツ国ブラウンシュヴァイク工科大学教授の Professor Arno Kwade が“From Ultrafine Milling to Battery and Pharmaceuticals Production: A Journey from Theory to Practice in Particle Technology”の業績により受賞されました。KONA 賞の贈呈式は、本年 5 月 13 日に大阪で開催される第 10 回粉体工学世界会議 (WCPT10) にて執り行われる予定です。



粉体工学会・白川会長による受賞挨拶



猪ノ木評議員による閉会挨拶